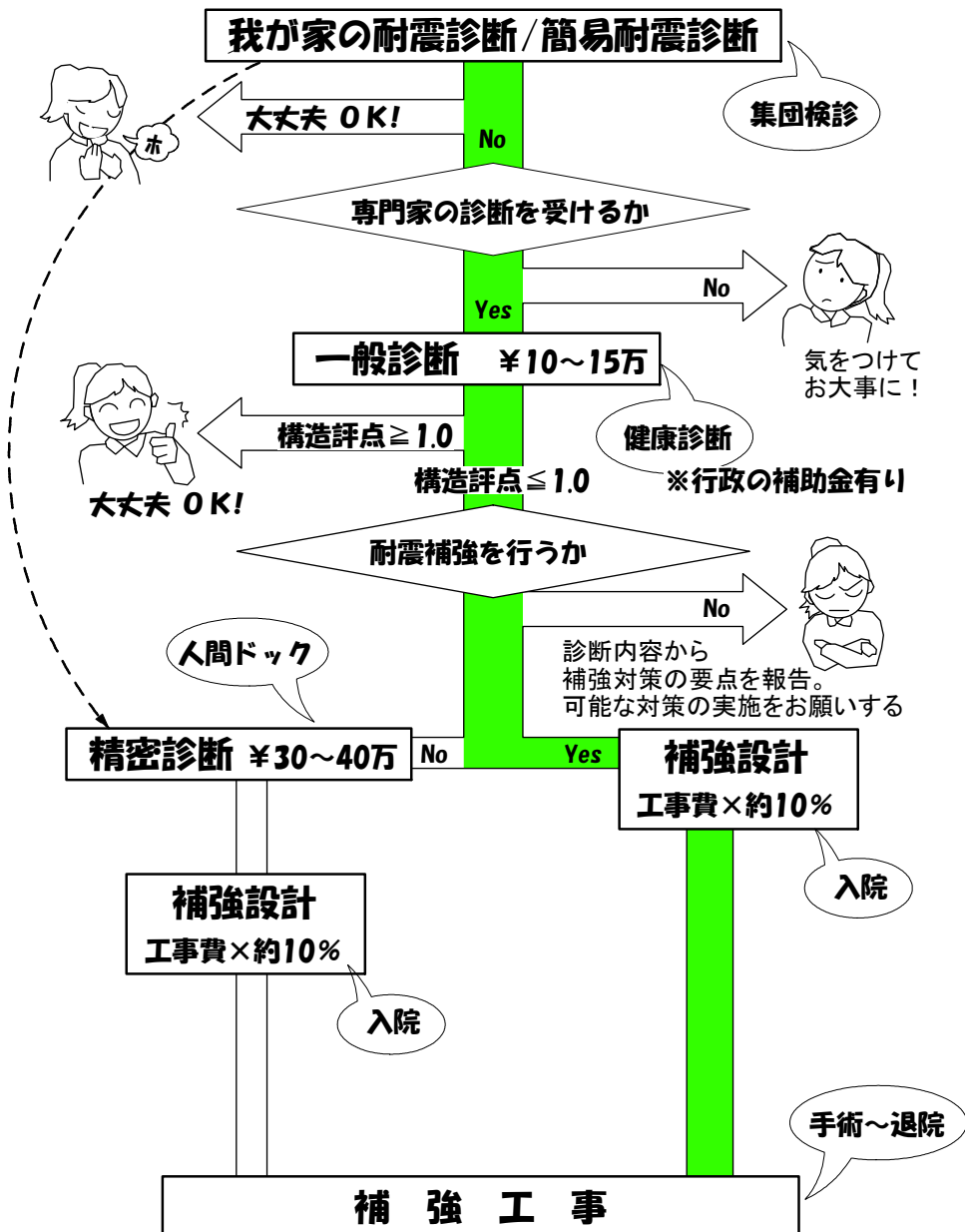


耐震診断フローチャート



阪神淡路大震災の被害

45年前 ▽	1971(S46) 基準法改正	築45年以上 69%倒壊	①重い屋根(土居葺き瓦) ②細い柱 ③大きな開口
35年前 ▽	1981(S56) 基準法改正	築35年以上 22%倒壊	①軽い屋根材の出現 ②筋交いの普及 ③基礎のコンクリート化
▽16年前	1995(h7/1/17)阪神大震災 2000(h12) 基準法改正	築10年以上 9%倒壊	①2×4工法の導入 ②耐力壁の普及(筋交い) ③金物補強の普及
▽±0	2011(h23/3/11)東日本大震災		①地盤調査の実施 ②耐力壁のバランス計算 ③継手・仕口の仕様規定

耐震補強の五つの要点

		優先順位が		
		高い	普通	低い
①地盤調査と基礎構造	・基礎のヒビ割れ補修	◎		
	・無筋基礎を有筋基礎に		○	
	・アンカーボルトの増し締め		○	
	・地盤改良			△
②耐力壁の確保とバランス配置	・耐力壁の追加	◎		
	・筋交いの追加	◎		
	・構造合板による既存壁の補強	◎		
③基礎金物や仕口金物の設置	・ホールダウン金物による補強	◎		
	・筋交い部 仕口金物設置	◎		
	・ホゾ抜け防止金物の設置		○	
④建物重量の軽量化&剛性化	・屋根材の軽量化		○	
	・外壁材の軽量化			△
	・吹抜け廻り火打梁設置		○	
	・2階床面の下地補強		○	
	・小屋裏雲筋交いの補強		○	
	・家具の配置と転倒防止		○	
⑤白蟻・腐食予防	・水廻りの柱、土台の点検~補強	◎		
	・床下の通気、換気確保(木炭敷込)			△